本語す は政府提出、 語促出重

日東三非公式交渉を膨れたが極まの諸事論行に關し政民限級は十六

家ル上程する 小山脈 4の韓越に暮き今縣常時の諸か開き内閣 らぬので変に午後八時代の依郎中

目相官邸

押寄す

勞働者、農民代表四百五十名

警官と大亂闘を演す

時を突破して官邸職場に響所を打って発致しる職員を関係したが各がいる。二十名を愛し全部解説を命ぜられた、西尾、岸山、赤松氏等の代表者が、電力を表したが後に、一名を愛し全部解説を命ぜられたが各様に、一名を変しる部解説を命ぜられたが各様に、一名を変しる部様に、一名を変しる部様に、一名を変しる。

一、十七日午前十時より強罪複會 一、十七日午前十時より強罪複合

が異職にありませんかった異様にありませんか

質問打切

永院豫算總會

叩き大工で

支那問題に

は注目

眞面目な内地の支那研究

河相關東廳外事課長の

になってなり細胞素酸の猛然な皮素温も排涂されてゐる事こて繁固能には緊急疾がよりの本食器に上程さる、事さなつたが野素臓は無観を選んで無回粒を期間に振り難して迫の水食器に上程さる、事さなつたが野素臓は無観を選んで無回粒を期間に振り難して迫の熱療が寒がの臓療は猛々寒味あるものさなつて来た、配して世上の耳目が動めてゐる勢野熱の感謝を逃げる後寒味あるものさなつて来た、配して世上の耳目が動めてゐる勢野熱の勝事的を近げる策がを奏し徹寒陰器はなほ激躁院に山機してかりこれ等を中心さ

事引き延ばし飛坊を奏し散襲を殺けなる熱い院に川機してかりこれをものからなりな戦はかく最後の世熟版に入ら

価烈なる 論戦を展開

ふの衆議院

一、二十一、二十二の兩日は休會一、二十日政友會の不信任案上程

不信任案さ

與黨の討論者

养 木 飾 人 行管 二 都 口 山 人 铅 框 部 太 庄 下 山 人 明 印 地 帝 一 州 可 图 全 野 海 鹿 縣 日 和 議 數 會 文 读 所 所

一程に

共産黨ご・

つこの

る魅わり我官歌もこれを感りしならず漢口の如きも危機に直

進めてるる

東北新稅

3

なは同大佐の東浦は根微彩い理由 た 行ふ気それが下検分さいは

黑綠白 內內內 障障障

助かつて居る

症と言ひはへられた

舊税との關係

財政廳長張振鷺氏談

一考察

を振動さて労働が「赤地な鬼」からりてのシュンカ 常価値ならたらす場合には、

く流行したといれば現象が勝的には以来 らされてあるのに

おまるされるさいふ事実がこれを発表してあるさいふ事実がこれを こだは、彼時から いふ現象で本質師に同じである一時八分一長いのが流行る」で

ち生え伸びたものでなく「梅」 いのか野電するに楽器な時機で ないが、これだけは暗電し得る がある。それは「生活」の土壌が

今まだそれが旗覧に「事代」で なるものが選延に現れてゐる。 なるものが選延に現れてゐる。 滿洲に最近「共産黨事代」

あすは午前登院 日は朝來登院

東北海軍

衆職院像算總會に出席することがなった。

一時半登院

日は左記六氏に決定する極端のないでは、大きないのでは、

世報に新し民政監では標 世報に新し民政監では標 出程される政友會提出の

滿洲船渠視察に

格別に大した用事はない

福田造船大佐來連

警察署長會議

頭痛上

ノーシンの

それが片づいたらすぐ帰るつも の操定である 内達さ相談したい事があり、四月二十日前後三日間に亘り間会 に用事もありませんが船災會社 胸東職全管下帰際器長会議は乗る

満鐵の衛生會議

淋疾の

豫防と治療に

を懐いた時はまだ大丈夫早 本疾を超しはしないかと危

ルゴールの短管

あすから三日間開く

▲福田啓二氏へ海軍造船大佐ン同上十七日入港あめりか丸にてが連十七日入港あめりか丸にてが連

その赤誠 に對して敬意を表 すべきだ、豪木長官さは始終おすべきだ、豪木長官さは始終お 當にならぬ

一、殆線の清掃作業合理化に関するが主なる職業左の如し 生行。単徹底に関心地方住民

像下げ要望で 艦隊の投帯が澤山來

聞って居たわけではないので

英米佛特許の新療法である。

廿日の本會議に

不信任案を提出

政友會今後の對策

き十六日午後院内に

に方針決定し議立並に奥然に交渉

議事進行の

協定成立

政、民雨派間に

粒口強防錠の普及方法に調す開する名 ・ ないとはいいであるらしい。 本歌中ださ。「何んさか」さ「考しい。 其他も であるらしい。 其他も であるらしい。 其他も であるらしい。 其他も

莫全權一行 廿一日入露

我提議に應ぜね場合

隨員飢觸決定 界進出。書きんよりもえらい。 大体戦に出る。支那スポーツの世 支那庭城選手、一九三二年から

政府の解悩り主義、花はづから カカリンとが登壁する。海の着にもならない。

類は支那の内撃には使はない標に 「大きなる費用。中水試廠所六 操れる大なる費用。中水試廠所六 操れる大なる費用。中水試廠所六

育に飛井事務大館を訪び十九日解僧の五國法律家⇔縁に願する日本政府の意識を聽収。使一永井次官と會談 【東京十七日登】駐日英國代理大使スノー氏は

然ては在オリー日本記律派と在ローマ家軍駅門家をして食職に参加せらめること外に立ち協定が承認の態度に出するも已むを得まいて観測されてあるが英國が日臨定の修正には感ぜねものと信すべき事情あり、英國の回答にして野くの妃くんに関する英國の回答は十七、八日中に外務省に鎖着の果実なるが目下のところ英

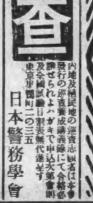
漢 吉 語 印 保護劑 皮膚の コドモの

櫻井內科醫院

光烟醫院 歌歌院









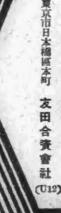


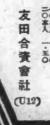






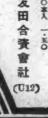


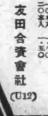






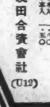














犬を盗んで

最後的證據固 をそ め >

十月

三年六

二十二日迄の拘留期限を前に

東代は野獣の近く神脈第二十四様 事代は野獣の近く神脈第二十四様 でこれが鮮の近く神脈第二十四様 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 では、地方法院地館(書記も同 單獨公判に附す肚か

ずる質地視察

なる十九日地が設

設立し、東吉は無限難に 月十二日資本金七千五百個の合資 興味を惹~業務横領被告事件

來る十九日の公判注目さる

何で罪が決る

有田保安課長がけ

先づ大連、奉天、長春に許可か

信製水間東京 ででは、 ででは、 ででは、 でででする。 ででする。 でででする。 ででする。 でです。

市内機町島ル洋行及び山縣通山村村町に取り會社の下事識資先たる村町に取り會社の下事識資先たる

に從事中、兄弟共謀のうへ昨年二 社員、父祭は會計事務を司り業務

長春の三地だけは必要である

近は不可能なので結局事性を要散

急略して二千六百九十

として認識することに内定し過ぎたせ親くその管機或は取締上に関する論論の時は過ぎたせ親くその管機或は取締上に関する論論の時は過ぎたせ親くその管機或は取締上に関するして認識することに内定し過ぎたせ親くその管機或は取締上に関すなり、荷田保持職とは十七日登りなり、有田保持職とは十七日登りないのである。 され、野谷局保安課では各地のダ くて満洲におけるダンス場問題も土地に設置すべきかが研察問題さ 選行賞 施 最終の途についた、か設くべきか、また満洲の如何なる 響天鬼で向ふ三 遇 覧 の像定で急酸くてきか、また満洲の如何なる 響天鬼で向ふ三 遇 覧 の像定で急

最近でけたの調査・略完了した監がることを経り、一般に大連に発しているのかが、 は、大連に対しているのかが、

水間兄弟はお

して公規の約長、契約だけで資本

は構成せれてい

永住地を引上げ

國產事實特許

全派者名栗店にあり

だ搬込みになってからず實質能に契約だけで資本金七千五百個は未

間接合會社名義に諸貴金を受取りは會社の設立た見てたらず、この

會社水門艦は軽に鬱立てるさいふ

満洲の高粱から

である、然し支那出縁苦がの増加年同期は覚に校七千四百名の滅少 五百二十六名)廿日より廿八日殿五千二百六十四名(一日代號 月十日より廿日までの輸送さするが

が、水原地するさはいへ柳端なる銀安が、水原地するさはいへ柳端なる銀安・エーより見るも僧吹上の破破である。

日市内塾能館範囲展所近において一大は悉く元の録式の一氏所有の隠たグレートテンゼー 大は悉く元の録式の氏所なの隠たグレートテンゼー 大は悉く元の録式のほかが は、 一氏所有の隠たグレートテンゼー 石川現場勤務の郷土 遊戯中の子供 自動車に轢か

横切らんごして

衝突

會社設立

0

定義

(大恐慌を來してゐるので沙浴 変に大恐慌を來してゐるので沙浴 隠す男 遂にふたり捕る





€22283



11111

賞 ル参會會期 I加 品 ル員費場日

三百名限り 三百名限り

申 込 所

山本運動其店、沙河口崗榮新園店、沙河口崗榮新園店、沙河口崗榮新園店、東洋行一大成館内プレイガイド、大阪電號、春東洋行一大成館内プレイガイド、

五十等注電品を贈呈一等金メタル及側中時計、二等以下五等注銀メタル及側中時計、二等以下五等注銀メタル及側下時計、二等以

後,主

援 催

洲日報社を趣味社

地を引上げらる、ものご解したの地を引上げらる、ものにない、なはこれが他へ波が配はらい、なはこれが他へ波を開きませてる時は由々し十大事を変起す

車に轢かる

り、かくては永徳というかと正八年郷と際

金米が込みでも會社設立、見做する

に衝突し悪び路上に駆倒して荷車 でおかな明さなり脛性を振って直に腰をしたが監視を対して直に腰をしたが最初追突しては上で変されたが最初追突してある。 は目下標音中 んごぎ だお -イフキ町 6512番 吻名

力

力

慢頭於難離頭質

斯然順町二五 岡部紹介所料金景性網相談に應す 料金景性網相談に應す

領国が申じます ダイマ

電話ニニニ〇九



報告を研究

費したさいふのが襲歌決定書に現のうち六千九百六十九回を稼餓者

高級優美にし 外套裏表用専他毛皮類級機美にして執強なる

頭痛

ノーシンの

周年大奉仕 銘 連鎖街支店にて

實に未曾有の表開業十年以來 業十年以來の利益金分配額を原價より引去りたる春新柄着荷品山の如き豐富の中より御自由に御撰擇 去りたる値札 遊ばし

新柄春セル上等 秋 父 夜 具 地 本場秩 父 銘 仙 大園 十園 本羽二重九寸 四園 五圓 帯 芯 上 等 四風 五圓 帯 芯 上 等 一選・テ八圓 兵 兒 帯 本本本筋筋 一川 三川 五十銭 七十銭 七十銭 七十銭 七十銭 七十銭 七十銭 七十銭

三月 ●秩父夜具・座蒲團・既製品及春夏物持越品は過大の大投賣り 臨 九日、二十 銀座通り(電話ニニー三六番) 三日間のお買物 は

の一隊は市内山縣通り一四一総貨が無い場所をは別職の短く十七日早ま

支那から蹴球庭球選手を

オリムピックに派遣する

中華全國體育協會理事會で決定

三名を拘引

態は極端なる関節振りで消滅本線による本年度出

去る十四

中のさころ今回回所の數學士六女

中のさころ今回同所の農學士六女三氏がこの高粱の膨粉から無懲火

大人人になったが六所氏が中央武艦所 デチルアルコール製造に玉蜀黍に 代るに高繋の郷粉を以てしやうさ 代るに高繋の郷粉を以てしやうさ であれる。 最級は線的高業人は的第一の のでは、 ので

だけでも腕のす

日のうちにでも登州府に向け出てよ、人数が摘ひましたから今では、人数が摘ひましたから今

入港のあめり

料和洋付の糖準に

のがあり一般水上等で取調べなう かけたが事像が無り一同興酸とで市 内に分徴とた

七五三二〇十七の日本五〇一〇四時十温度

同間同局等最十一八九四四 六四九一七五低日

各の風

H

滿鐵の輸送成績

出稼ぎ苦力

無煙火藥や塗料材料製造に成功

中央試験所の六所農學

なる發明

コールは塗料さるての外人造皮革 しゅであり、なほ最近工業能に

支那の軍

艦を

に難ら十七日午前十時より事職を に難ら十七日午前十時より事職を がでは、大きな常能をにおいて脚本委員長 大きな常能を記さいて脚本委員長 大きな常能を記さいて脚本委員長 大きな常能を記さいて脚本委員長 大きな常能を記さいて脚本委員長

引

揚

-

年後に弱つゞいた

命を的の潜水夫一行廿名

別中本社を訪れ各部で大連沙河口公場

登州府

へ向ふ途中ける來連

一必要

を 大せる際、長が玉製化せば我園に 特敵の高聚の用途な養見したもの で共の神経は大である『第五は養いで共の神経は大である『第五は養いで共の神経は大である『第五は養いで

貴州丸海事器判

大連署に留置

全滿麻雀競技大會 申込明日限り 基は 達し易

新研究法の登表 をで無法に打つては感味もなく上 であるから子供でも本頭を聞へば であるから子供でも本頭を聞へば であるから子供でも本頭を聞へば であるから子供でも本頭を聞へば

日正午開始

內地土産御贈答用 キリ 商

帝王の煙草 煙草の覇王

上 6 6 分积入分 15 滿洲總代理店 會株 西

というない可にいる

大連市常陸町五七 三電陽 ステキメ

購買會開催低廉販賣 大連毛皮貿易合名會社 大連毛皮貿易合名會社

TANK THE

圓錢錢錢匱

黒木三壘

聖手





大連 阪本洋服店

電話7020番







阿

(12)

十一銭

にきどめ

E



ご差異がないと質はれて居ります が、それは縄ての日本酒が同一だ さ言ふのさ同じでございます

「黒 さ 白」の特徴は美香が非常に高いさ 言ふ事でございまして 天クキスキーの 生命も質に共芳香に有るのでございます

スコッチ ウキスキーの後の味を養美されんさ する方は先が、黒さ白」を有使用下さい



SCOTCH WHISKY

に名りている方は国 心壁がれを防ぐ 06

殿には小野、老虎等の一大郎、寒頭神、羊頭等、

・ 大狐川、大名口、水客口、除 前山。サテは満洲の大空間 - 東 龍山。サテは満洲の大空間 - 東

關東州の水産業

世界の羨望北海と

酷似するその環境

をは、常常線の概念をも百かまで、 をび、常常線の概念を七百かまで 地内の人目を九十萬さすれば一人 地内の人目を九十萬さすれば一人

では少くさも能率足れりされることは少くさも能率足れることは恰も との意を表することは恰も との意を表することは恰も との意を表することは恰も との意を表することは恰も との意を表することは恰も

ての進齢が骨かれるであらう。

を始めてして大小合せて四十餘にころの島嶼は長山列島、五島列島、五島列島、五島列島、東に獣脈するとまで製造である。 頭に獣脈するとまで製造した場合、東京は、大小合せて四十餘に

動的による作行面機及び 丁一園塗さなつてゐる。

既報の知く歴東市場では鑑賞意識一のため変質体止したが特は昨十六

當市場は影響少し

安東取引所の

大連開工會議所ではさきに役員會

政黨政派超越

各國の承認は疑問

立會停止の眞相

砂票またも品騰

一圓臺乘

すること、なつたと解へてある
すること、なつたと解へてある
はどろ聞か、この観察内を使うこと能はざる聞んなの決議と共に通告
を聞か、この観察内を使うこと能はざる聞んなの決議と共に通告
を記を決議し近く政府會議の形式上の通過に使って答同に就て支那
の観察は全部支那の私際とす
を記を決議し近く政府會議の形式上の通過に使って答同に就て支那

月階は二圓五十錢高の百四十三回

昨年六月來の新高値

渤海や支那

領海線を上

中央政治會議において決議す

關東州漁業は大打撃

七十代さ昨年六月以来の新高値に 要さ早仕舞び鯱で酸内であが一画 ではまけたが露市はマメラの新規 では、たり別様に各級小一画

五品取引

所

或る日の水谷常務

齊に奔騰又奔騰

マ・・ 数島町の五品町沿所 一こ、 は地頭のお役所属な財活所で製いるる新ルネッサン式の壁域、それる 大きにうづくまるやの二階の理事室にうづくまるや

トクルリストをいます。 やったまがて電話が杜巻えるで坐つたま

内地学野市場は長月窓株式、総糸、生糸、野米共好戦の色 が応し森に株式市場は金和安に後還せられて設株共駐職が では、一十七日前場は銀塊高、米樹高等の液外 では、一十七日前場は銀塊高、米樹高等の液外 が、十七日前場は銀塊高、米樹高等の液外 では、一十七日前場は銀塊高、米樹高等の液外 が、一十七日前場は銀塊高、米樹高等の液外 が、一十七日前場は銀塊を埋むるの流 高を入れて新伽に変践する等谷市場実践に習めき伽をつけ脚米、船窓も活泼を呈すると共に地場観林楸成既を入れて、内地主力株は諸株共新高値、

机上は電要書類山機、ヒツキリ

田の机に向はれるしかけ。 東和な翻……目じりに小靴を沓 を前な翻……目じりに小靴を沓

なしに電話がからる、概遇ニュ

拔解合なら

本井上輝夫◆田村羊三◆千秋覧を受の離解れば左の如じ

≇域▲和田敬三 維▲西田養藏▲高

内地株の良いのは知ったがさ

あたっ

己むを得ぬ

某消息通談

0

新高値へ躍進 引際は一、 二圓安

健高さ駅陰し器株実新高値に顕進加へ北部定期の箭に大株二個高、一

綿糸士暴騰

しては芝泉版の百二十度画見歌、 をは軽な技機が目飾とする歌鉄人 できたのに難・買手と が暫進んできたのに難・買手と カナ九日前場茨成動像止の線像なより一様に六十八国に実践した。 七百萬間の巨線に上り伏青路日に一七百萬間の巨線に上り伏青路日に六世に大連節の百萬間前後に地元支

「本名方面から注目されてゐっ、而 現在資方、買方がごういふ意思な 「大野」が實施がれてたり安東において機 割高 であった、め安東 であった。対理がれてたり安東において機 のいていへば大勢が多少の議歩を が関係がれてたり安東において機 のいていへば大勢が多少の議歩を なった。高行のみの所存に ないであった。こういふ問題は一切らないが、 無合でも行ほるれば右責法の質地 な要さするなら、温ひて反對はしな ないままないでは、必要さするなら、温ひて反對はしないが、 無合でも行ほるれば右責法の質地 ない

大勢譲歩なら

中京国の質玉を有する所銀の意見 は大した終歴はないものさみてぬ は大した終歴はないものさみてぬ では大した終歴はないものさみてぬ では大した終歴はないものさみてぬ

米は豊作 收穫に少

安値で鮮人や支那人も消 邦人への供給は一

提供證券

の内諸

五品早受渡ご

であるが、長春以北の分は哈蘭震いるの他北浦地形で無縁されるのて南浦湖へ出掘りか見ない、他つて南浦湖へ出掘りか見ない、他つて南浦湖へ出掘りか見ない。他つて南浦湖に繋ら水稽観牧極高は長春以南 大川、01日 日本大、九三里

を向来にして四朝五分留りこして を向来にして四朝五分留りこして 一十四萬石の處である、しかし昭 前年度の水響で使信をなさない。 も輸出されるので戦後の郷合に敬 のも多数あり、しかし朝戦が職へ のも多数あり、しかし朝戦が職へ を向来に見い戦後で来が もいしいといい。 始ご前年さ同様で世際は

年五十萬爾

漁獲高

れないて他山の石

銀價の浮動

市況

一般軟

り低じてるた安東 安心の結果をリ過 安心の結果をリ過 をかられ、野屋の をかられ、野屋の 発情ない被目に関 0 銀根場の尖端 中 時 元〇 11元10 11元20 十一時 元〇 11元10 11元20 1

綿糸昻 産地情報は厳四分の一 場(保合)

式 前曾

12 13

美雄 聖皇 五五九 華 明 一 五五九 華

本東短前場 本東短前場 本東短前場 本東短前場 株(昇騰) 高値 安値 大引 京画(中部)

一一一一〇〇 仙仙人人一〇〇八九五 九二〇八九五

爲替相場

の観り 5

東郭日國國大大路 新船帶新紡新株柄大 **阪** 式 一五六留比一七七旬比

横井建築事務所 大連株式商品取引人 が掛六十町奥市連大 三ネカンレ19署信受 **着**↑↑□ ↑表作語電

頭痛

マ…緑色のカーテンの間から帯の を対がられる。桃上には眺のぱ。 をでが女性能に。 は行きません。傾しる時代が要ないでよかつたが今年はそう にも影響かきそうな口振りたって水ましたからナアニ世のはつて水ましたからナアニ世の マー「しかし内地の株は高いじや 動。もつさ行きますぜ、昨年は ありまぜんか、新東が百二十六

日来高(十六日) 一、〇三〇枚 一、〇三〇枚

引は反落

五〇〇 三五〇〇

市場電報 上海標金

銀塊奔騰し

10000 | 10000

大阪商船(城大連支店 東島南張所(大連市山縣語) 國際運輸(城大連支店 電話四川川上香 電話四川川上香

市 為行(塔山丸 三月生日代 理店

花

大

大連市山縣道電話(三七三九番 大連市協議道音を研究。大連市協議道音を研究。大七一二番 大連市協議道音を研究。

米

安東株

郵船對出快郵船出快

九日

活版石版 製本… 諸印刷



濱口首相安泰の一

のき政府は十六日 のき政府は十六日 のき政府は十六日 のき政府は十六日

ドイツ批准 關稅休日條約

つた場合この無電を使用するさ

滿鐵社況報告

心が 八十用華に乗せたので

が原を反落 八十用華に乗せたので

が原を反落

砂票反落

料·小兒科 光·小兒科

計一ケ側が地極した端である は十六日ジュネーダ側機様日條線 たご百三十一票で地産するに決定 たこれで條約署名岡十七ケ側中

一つき総無報告するさごろがあつた 一七日赴旅園東郷に於て三浦内粉 には、一般に が最後にいることでは、一般に がものがあった。

院病藤近

即次克藤近 科特 長龍

借九六回五話電

石友三氏吉林入說

張學良氏諒解の下に

院醫

江庄場馬

大軍を率

社収益

市場電報 一下場電報 一下場電報 一下場電報 一下場電報

B

場

八七五八話電·結構盤常連为

ルトクド

ル會

も速いに質行すべ 高つては右根本方 の率か引上でる事

對貴族院

日本からは標準大他が弾艦の響 を退路成文決定會職は楽る十九日 イギリス外線ではおいて五ケ國代 が、お出席の下に開かれる事さなった は標準大他が弾艦の響

長哈兩無電の

院内閣議で決定

安藤正純氏(改)

本案は杜

に戦め歴物権下げ遊に思 部に残物中の處鑑に之れ が成場中の處鑑に之れ

間する鉄舗案、

支給せざる事とれば恩給の

佛伊海軍協定

千回なコー四百一等では無に被称を続より除せる五百回にコニテ六一が信報を振出せんとする献せる五百回を「六一が信報を振出せんとする献せる五百回を「六一が信報を振出せんとする献

建議案

て政友会職の少數意見を述べる民人より委員會の經過報告あり終

合理的發展を前提ごする限り要するに、大連市の職業教育

なほ相信者が研究の

人山氏の發言中止で一

もめ

業法中敗正法律案(政一の報告あつて蔵に砂決職定、次いな上程し季散長校瀧武維氏(氏) 个質は協調に在り

水議院本會議 (+te)

決職定

題さし討論に入る之

双方喜ばかは當然

與黨議員撤回案反駁

四雅鮮追加案昭和五年度各特別 和五年度歲入歲出 席の後を追ひ政友機関撃を浴す、高の後を追ひ政友機関撃を浴す、海口管根患 衆議院豫算總會(+七日)

反野し探決の結 が、野が勝大移管

た旅家探決の結果政大家に破れ民 政意の決議が決さなる、 かくて武 の本職長は変説の勢を職も三時二

東 た提出・大いで祝田重政氏(政)政 (国裁判所事を選む に表示を望む に対所に於 區裁判所事務停止並に地方 文部権限の變更は失當成法第四條に背反し地成法第四條に背反し地

安取休會 十九日迄延長

勞働會議

復職テ命ス(各道)

技手 築地七之助

英選舉法案 政府黨敗北す 京 は 大学・ 築地七之助 同 技手・ 築地七之助 同 技手・ 築地七之助 マ (京分限令第十一條第一項第二號

◆伴野喜四郎氏(産业高等法院長)
十七日天瀬九二て天津へ
・ 旅願一中一行七十三名 同上平津修學旅行に出験
・ 本澤安東領事 事務打合のため
十七日闢東殿 5間
・ 七日開東殿 5間
・ 七日開東殿 5間
・ 七日開東殿 5間

▲ 耐川政雄氏(奉天榊原農場主) 十六日赴脈十七日二十時着列車 庶務課長)十七日二十時着列車 で來連ママトホテルに投宿 ▲ 竹中间次長 同上 ▲ 竹中间次長 同上 綿糸引安

会議会に関係している。 「大阪三品大引は前場寄に比し炯近 大阪三品大引は前場寄に比し炯近 大阪三品大引は前場寄に比し炯近 麻袋 (出來不申)

大〇四〇

◆現物後場の銀也) 大豆(裸物) 大豆(裸物) 一九八〇一九九 日來高 三萬八千枚 日來高 三萬八千枚 日來不申 包 米 出來不申

後級三番 六七九〇 六九九〇 六九九〇

豆ご粕反騰

U

尤

地株反落 當市引安

鐘新も小一個安に引けた一個安に引けた

行の五院制度をそのま、採用す行の五院制度をそのま、採用する場合の五院制度をそのま、採用する。

勝原な指定 第四章 別な網鎖 第四章 別な網鎖

况年七

主張するが如く態度腰膝なるは知く或は旁側者保護第一主義な知く或は旁側者保護第一主義な知く或は旁側者保護第一主義ない。



法改正案は委託

平々備制限條約實施工法律第二號中改正 職定さなる、次で

を上程の就是権山(金)氏の報告の 歴史し

一、情報店。
・ 大で日程を

た新約独草家の内容は大骸左の妃 【南京特電十六日報】 骸人脱橋し

等級

脱稿した

約法內容

東北八省豫算

真像を続けて鰹節も進んで組合一つ。 胃頭と政府の整動運動運際援り の

組合た助成せんごするもの 脚一郎氏(大衆) 本案

東支高給社員の

多數を以

「可決

政友會側の附帶決議を否決

一割減俸を決定

來四月一日から實施

東京では月給八十金留以上のもの は一制減解を四月一日から實施で は一制減解を四月一日から實施で は一制減解を四月一日から實施で 位常選理事は実施 (位等消選理事は実施 (位等消選理事は実施)

佐堂帝選理事具、地出張 他ツ用性か持ち十七日朝大連教認 が、厥地に徐二日間際在二十一日 朝帰連の智

夫々強調を辿つたと豆粕は反應を呈し豆油高燥も又後場の定期は銀價の引緩みに大豆

推進機工或理に関する公債費行 に関する法律実へ同より か一緒上程委員長齢木寅彦氏(民)

けふの兩院

市

イのの関連を持ること、する等くの他 を対り主義によって類切る態度を探 えり主義によって類切る態度を探

人り政友會の影風でこれにて情報し版

大で政府提出の一、明治四十二年法律第二十二號中政正決律案(立木に願する件)な上程委就長機山金太郎氏(長)の継告あつて可決喩定一、進野罪即決令中政正法律案「一松定吉外三名提出)

貴族院 【東京十七日發】

時の時代にもが何の事業をも有利 地でた通りですが、此の機関は何の事業をも有利

であらうか。一総千殿の夢は成く にをであらうか。一総千殿の夢は成く にをあてもい、昨です。今所総式 えて見た處で致し方はありますま まで見たので、死んだ見の年を終 がこうのさ、死んだ見の年を終

回戦決派は一航深報にしてありま でつて行けるこ思ひます。だらこ

運転資金も今の戯四萬面もわれば

さむへられ

のに優の不思いは、「権民地統治に強大な黄いの問題さされました。――と云いの問題さされました。――と云いの問題さされました。――と云いの問題さされました。――と云いのでの不思いは、一世の一世の一世の一世の

す。そこで概点探機も「政務打ち合せのため漂亮して居るのだり、 す」と素質に答へました。 う」と素質に答へました。

漁港を繞りて

(三)

郷ならば三分の一位は後日の郷込が低一の投船一隻を一口――三百面位—

(共同仕入機關)

・ 大に整成機器と総本関東及官 ・ 大に貴族院議員であります。

口説き役

のです。

人物點景

にするのは不都合だ!」で言ふ

低する頃は議會はモウ終りです

は政友會の島田總務ですは政友會の島田總務でする。 楽論院でこれを問題に

東京にて 窶 馬 生

この報告書は全く思

あるが、外関人なる

一萬六千圓あまりした、既々夢しても更に一層減ります。その神鑑の見込みであります。その神鑑の見込みであります。その神鑑の

百五十五萬二千圓で座御て、昭和四年度に於きま

は全く忠質に事質な

三、民法典、離法典、欧正和法典を戦行法、破産法、教産法、特許法、土地のでは、特許法、土地

日

政・政・不要員(太田嘉太郎氏)唯今の政・不要員(太田嘉太郎氏)唯今のひたい

海洲銀道株式會社の利益は昭和 海洲銀道株式會社の利益は昭和

又六年度におきま

の他の客法強なほどの管織をあげ ・一八年南京において記述の繁理・ ・ 所物的に素をたて、監験の繁理・ ・ において記述の後成

まる六日賞族院康第分科會で大蔵 おんた 一覧に黙し対所委員太田墓太郎民の はした 警点を表記を に際し際在党郎鬼 から 編記すれ

の他の客法決な能での質別に力を注いが、 一部、 雅事心の質別に力を注いには既に民地

廢

学

車の三順級を使用せざれば

◆消電バスは露に旅大間で顕微 パス顕復は當然 投書歡迎 ◆ 済電は多くの人名を撮る戦合車に戦合用重整・用ひずトラックシャーを現て戦合ポテーを除し は一人につき座艦幅一尺四寸以上なる拠定なるに満電はこの機・ 上なる拠定なるに満電はこの機・ トロードッ号合は此高速力に壊ってるは監然なり、近結果制動 であるは監然なり、近結果制動 ◆機定速力は市内十六曜市州二十五里なり、機に整大職十二里定行するには少くさも一時間中を要するものなるに一時間中を要すると公表せり、この時間にて港行するには卅五里以上四にて港行するには卅五里以上四にて港行するには卅五里以上四にて港行するには卅五里以上四にて港行するには卅五里以上四にて港行するには卅五里以上四 ちの顕著するは當然なり

大監督の演奏は電路に終す、また警遇タクシー五人家に六人衆でたる監督を持た要はたるべるが(総合的なが)を受けだり、数の方の技術者の調査したさころでは高電の乗台自動車は頻短するやうに出来てあるさいふこさにはなってあない今度の事件は私の管轄地域外のではなってあない。ことで詳しいことは対ってあない。ことで詳しいことは対してもないが、またり中稼害物を避けたら又一つ。

他の資質、裁判官と被告人さの間 おる(ついく) ないことが目につく、裁判官の管 だされてゐるさはいへない有様でないことが目につく、裁判官の管 だされてゐるさはいへない有様で でく、 岩投書の趣旨については 神つてゐるが一層嚴重に取締る のでは後來さも取

概能の室は二階にある。

は玄関から階段に移るわ

利益金配當金の變遷

貴院における政府委員の答辯

神織金が三千百三十八萬六千團 それから九年度におきまして幣 たりで感激してゐる。

貸間

市 鐵 貯 炭 場 構 內 山野 大 場 構 內 山野 大 場 構 內 山野 大 場 構 內 山

三出

O張

番所

石

炭商

西南

哥會

様に難しまして優先能に六分の配 ましては六分の配質を認めましては 別治四十年及び四十一年度におき 別治四十年及び四十一年度におき

でありますへつかく 言葉で動めてゐる。 飲んで

こさにするについて頭を痛めれば 切つて新しい共同仕入機関に塗る

他の部がは職なく出来る総定ですの運用によることにすれば、一割

は一点であり、二人の後に常にお根 に、これであり、二人の後に常にお根 「魔子失敬するよ。 おめえの親爺 に無れる。 るさらなく

でいっちやないの、アンプロジャ供してゐるのは出畔である。 一彩花は 「あの、今殿は一市公のて伏せつておりますって伏せつております。 一川 郷爺工合殿いでは、新郷が一名殿いでは、 ちやったんですよっ ツさ眼を掘た

安居

骨脂 病ハリ、キュウ 発木丈太郎 電話四六九二番

太郎 電話四六九二番

林春 性暴丸炎鍼灸

貸間

貸間

「君、嘘かい」 「君、嘘かい」 機能がおつ冠せた。 「英迦、そんな事態」

原天堂 電三二〇九番 連市浪速町

話七八九三番へ

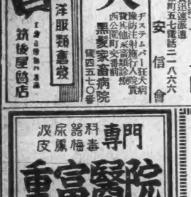
目二〇一番地 第パリ炎専門療院

歌家政

日婦

リカルリュ でからない、キスもらい、かい、キスト版をクルリュ 大い版をクルリュ

支那服の準備有日本経験の準備有日本経験を



市品

■出

大張

-

書

±店

英町

大連西通·常盤橋·西廣場中間 管話七五二八番 7 運" 外の服洋紗羅 *動" たじまめ始か貨雜譜 較比鎖心段値を物品

> 3 服 對唇背由腦檢 店商野吉 **等六八一話**

大彩專資針箱 本 種 ヘラ・糸マキ・ユピダキ 糸 電話七二〇〇番 -----店商の等吾

各學校裁縫道具

旅順製物 海 渡

三味線及附屬品、質流、貴金屬

裝身具

衣 鹽店

安田 三日 18 本名で直ぐなをします。 一時間修繕 南海洋行流 新 寶蜜着 部毒

國三九五三 田 郡 井 電三九五三 田 郡 井 監三二〇七一 電三二〇七十二 電景間報十週李庭園地下室 電三二〇七十二 電景間報十週李庭園地下室 電景間報十週李庭園地下室 電景間報十週李庭園地下室

御酒 式 席 に限 亭松竹年 花代申受す 年 町

古洋服 類 5 3 12 ◎葉

皮軟梅毒淋病 一回切六電·五二即野吉連大 洋服附屬品並に知答

各日美容學院 本日町一七 本日町一七 東集 東東 電話セハ六七

濟生醫院

病

●春のお子蓮用帽子 麗 行

●春の中折帽子 ・奏れて騒然春のソファ ・を異れて騒然春のソファ 防寒帽

生サ御 友 仕ジ定 立尺服

服實地ル側ル紗仙側 く拔を地頭一然嶄 店服臭やすびる 曠野に

満

案内

此印に限る

邦文

大山道恵

塵紙

三拾鉄増

古本

トの上に職れる是管、がやがやさ 「やアこれア、職かっ 変ひの繋の選びつた話覧、一杯無 花椒。わざわざお出迎 が がらといジャズ・ソングの目前。 すな」 ひさしたつぶと、椅子から立ち上 カッタン主殿の尾で歌開けられる音、ざやざやき歌下のカーペッ 海濱の家の出來事 たラグピイ選手の田

父様の御機能が駆いからさ言って「娘さんが來たら、早く後奴達を 女髮 常短期差 男女

れざ寒遊には目もく! だぎでもありやしないたらごう?」 邦文 タイピス 昭和家政婦附添 昭和家政婦附添 女給

ラの数なしま

へき立ち去って行った。

邦文 知明養

テ英語

製製業生 文

徒募集

玉橋保健治療市西公園町一五三 三四療 番番院

信濃町市場前 電五二

取花

ラチュム温灸治器

牛乳 パタークリ

資品にサ 乳腫、

学文 ま 婚婦用 日際町 たじまや電五四三七番 日際町 たじまや電六六〇一番

恩給

漢町二五曜六六八八

電八六七五番 シージ、あんぶく

小用 品親妇身们——

門札

三チ ロバン 電話や六人 加手足の痛む御方様

大連市野原大連吉野原六電六三一 大連市野原大連吉野原六電六三一 大連市野原大連吉野原六電六三一 大連市野原大連吉野原六電六三一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一 一本棋院大連吉野原六電六三一一

糸お田ひ用 舎が命 切 はだんさ

子ぎこ子 屋

木 屋 話支護本

男日女 主 女毛學が関係の 別指七帶七錦銘帶夕

警店

素晴し

い腕の

滿堂を酔はした劍道戰

山滿織

有段者紅白優退戦 水(大連)小林(沙流)宮田(寧四戦に於ける三勝者次の如し

日

高)古達
である
である</

三勝者優退試合 通也 〇石原田(沖滿田中八工)

(日曜水)

幸校

小兒の劇藥中

當局活動を開始

幼稚園

の改築

土、軽天の平山、蜿蜒、深谷客五一の暮はきつて落された。 一の野田の髭繁外地元を合して 一づ棚武道部長の隅倉の都につい窓鵬の増田の髭繁外地元を合して 一づ棚武道部長の隅倉の都についる場所、内田、代島、靏原、近藤、 大から大へこ逝りられた、定郷

+

海(標準)

州)神保(無

月

Ξ

年六

タ臺道場の 盛況

强豪相會

春日映ゆる十五日行はれた

肉躍る全流武道大會

て未曾有の熱戦がさらもに脱き道 以下十六氏変を参照からしに配き道郷の除地なき観楽は唾をの郷土以下十六氏変を参照のにしかれて鉱道郷上以下十六氏変を参照では大変がにしかれて鉱道

白水(大連)

かなる院のみえに崩壁を解はするあった 房限家の「五之彩」等ありその大田爾氏の「投之彩」佐々木、 〇〇小林〇心滿〇 宮田(奉憲)

大試合 科醫長來任

方案当試合し飲道と同じく午前 大時より焼年観報自試合かきつか 柔道戰結果 電点戦氏十六日赴代各方館に挨拶 が今000東大出身の新遊警場標士大 か今00東大出身の新遊警場標士大 が今00東大出身の新遊警場標士大

雕の要求し不限の現在人に理由的 より同情を集めついありると称って此の引下げについては容が

案外容易に實現か

野下げの實現を拠るに を調査を進めてくある を調査を進めてくめる

第一次では、 の とまる四日より の とまる四日より

工兵隊を迎へる

準備全く完了す

宿舍の割當も終る

新義州聯架夜學會

吉氏は十四日次吉命在する

向野氏には通告富村氏は承諾し

副會頭の後任決定

積雪四寸

商務會の役員

珍らしい雪

おめてた

合計育四十一名である

大石榴彩像

の邀信さもいふべきではあるまいの邀迎さ共に萧鐵の同懐ある他館の憲理さ共に萧鐵の同懐ある他館 玉黄金臺、 遊な海に成は脚山な標底して経 標機の名所でするも面白い。 又附近

竹合墨、模珠雕、 常水浴器さらて好趣地で 常常一帯は外群地に逃じ 計らいことは単六編住宅 手七編座隊の接顧で遊べ 用しつ、あるが、冬季は矢歩りスの窓は配職終二千六百昭あり現にの窓は配職終二千六百昭あり現に

版 るから間線を整へば満場有数のスペーン富士他 市内富士町六零地の海は砂槌級六千六百坪あり冬季 で 日米実のリンクな作ることも出来 で 日米実のリンクな作ることも出来 で は おから間線を整へば満場有数のス

會 周田 羅

ヘラルド紙の報道を蒸返して 露紙記者溜りの午後三時半

【ハルビン要】午後三時代、西に り窓に送してパッさ殿いオフイス り窓に送してパッさ殿いオフイス の原根の残害はスッカリ解けてし の原根の残害はスッカリ解けてし 人間に大なるセンセーションと次 ルピンヘラルドが投げたロマノフ ート二月薬館の記念日にへ

が年組では一等職古C三勝二等機 野C二勝)三等率の一勝)を決定次で 野C一勝)三等率の一勝)を決定次で 野C一勝)三等率の一勝)を決定次で 野C一勝)三等率の一勝)を決定次で 大人五十三組 が年組では一等職古C三勝 れてるる れてるる 競技部 0 が針その他で要事項協会

度陣容人の如語協議同十時

場がして正にスポーツシー

以下都域多數出版、六年度の計畫 り院職まテルに旅で際解資原部長 が大学の長盛期に入らんとする十五

田勝義 俵水無一

組合評議員會で決定 の制限撤廢 一名 ・裸同然の 一名 ・裸同然の

弓

東新春州南地の経路は港の特殊 今年解水郷より之を資施する事ととて一時報まつて居たが不 あるが賃買施には一率五分に過ぎす事に 胚胎し態る高率さなつて居 ねつたがこれに依つて昨年の五分事態に胚胎し態る高率さなつて居 物度した加ふるに於ては形式上一事性に胚胎し態る高率さなつて居 からが賃買施には一率五分に過ぎます。 埠頭作業料の

引下を要望 居た多量の指動が料は局有に踏め込ん。

籠球選手決定

北でに続て宿はれる薬は北域政合に は十二、十三の帰っ撃行らたが鑑 は十二、十三の帰っ撃行らたが鑑 等元、李字衡、楊柏、劉國忠 一、高級組 吉林大學)学中楷、何 等元、李字衡、楊柏、劉國忠 中)馬音山、沙成洲、王永芳久縣 中)馬音山、沙成洲、王永芳久縣 中)

通寺町、鮫島町一圓、於舊公十七日(檢道廿四日)十年町、

嶺

本十八日(禮國十五日)迎橋、乃木 本十八日(禮國十五日)迎橋、乃木 本二十四、五日(山頭村) ◆二十五 六一(三劉倭) ◆二十八、九日水 剛營 ◆三十日、一日(田家屯) ◆ 二、三日(柏盧子) ◆四、五日 (南山經) ◆二十四日(南山經) ◆二十四日(南山經) ◆二十五日(龍王斯) ◆ 二十六日(禮國) ◆二十七日(龍 十二十八日(禮國子) ◆四、五日(十四日) ◆ 二十六日(禮國子) ◆四、五日(十四日) ◆ 二十六日(禮國子) ◆四、五日(十四日) ◆ 二十六日(禮國子) ◆二十七日(龍

Щ

ラルド紙の不信を搬

● マリ、現代創若者よ何故泣くか フエーの夫婦、時代劇御家人は 関内のプログラム左の通り

速の寒氣で

積雪

寸

さかが白素子側に

れた特権かは知らわが

時代劇者者よ何故泣くか(後編) 時代劇者者よ何故泣くか(後編) 時代劇者者よ何故泣くか(後編)

能も反駁するものがないで――春 大中に突織した。遠に人並織では 大中に突織した。遠に人並織では

い保住なんだらう?彼は マクス・シンブソンは ・一二日のザリヤ紙にはメーザー氏 ・フクス・シンブソンは ・一二日のザリヤ紙にはメーザー氏 ・一二日のザリヤ紙には、 ・一二日のサビストの ・一二日のザリヤ系には、 ・一二日のザーの、 ・一二日の・ ・一二日のの ・一二日のの ・一二日のの ・一二日の

がに降下し零下六度五を示し十六かに降下し零下六度五を示し十六十六十六日 をには白端々の銀世界さ化と美麗なを示し十六十二日をに至り無温には

町のニュース

所長新任挨拶

七て奉天署に寄附して出たとて奉天署に寄附して出た

温暖打躍さらう降雪もあるまいさ

銀世界の美觀

サー五日夜の製は細温低下されに数 悪き繋り十六日頭は緩出二寸さい か彩しい繋を見たが繋天転搬所の 時年の最後の降雪は四月六日で 時年の最後の降雪は四月六日で ので今までのやうに何時まで るので今までのやうに何時まで あので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで なので今までのやうに何時まで

じつてるた。

新義州の火事

吉

林

に對し特別教授をならた は十六日來率したが同日午後一時 たから率天鑒武漁場に於て署員一同 をから率天鑒武漁場に於て署員一同 をから率天鑒武漁場に於て署員一同 をから本天鑒武漁場に於て署員一局を

珠算競技會

開

原

本の由本の財限延長運動のため上京中であった手塚理事長は一関山中屋

● 本前一時から同校講堂に於て執行。 本前一時から同校講堂に於て執行。 本前一時から同校講堂に於て執行。 本前一時から同校講堂に於て執行。 本前の便楽、 職司されたので在。 本前一時から同校講堂に於て執行。 安青に取職・活職よの他の希で、 一次では、 一次で

秀長督太びし十

中の通りに愛愛する能量を掛て多分 吉敦線時間變更 直通列車は一回

四時から開催、第八回全浦聯合會 一一十八日午後一時から特別委員會を 一十八日午後一時から特別委員會を 開き區長制度慶正に関する詳細な 同打合せななす筈

全市を清めて

旅

艦隊を待つ

總裁に打電

接客業者、娼妓を檢査

来る廿三日午前十時より地方事務 所に於て局長會議が関き昭和六年 度の戸敷剝賦課の資定をなも廿四 日地方委っ合か関催し之が資定に 2000年第一日本

四月一日から實施せん

吉林登 午後六時四十分 教化着 午後六時四十分 教化者 午後六時四十分 教化教 午前十時三十分 吉林着 午後四時三十分 古林着 午後四時三十分 古の外に吉杖、蛟沖間い混合宛軍 の運行を次の通り解始するこ午前 中五十分

長唄演奏會

無は左の短し 無は左の短し 無は左の短し がは左の短し がは左の短し がは左の短し がは左の短し がはなのがとり、総 がはたのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはなのがとして がはない。 がない。 がはない。 はない。 四 店員友清某さ手を携へて転落したので 場合した方式を出したので 場合した方式が某連両具店の 形跡があるさ

▲ 相樂醫大學長 十六日大連より 長春へ 長春へ 長春へ

定期種痘施行

師範學堂卒業式

製鐵部慰安會

小學校卒業式

事等の変走で工務事が中陸りの地位工務事務所及少議、子を職組合理は工務事務所及少議、子を職組合理 一日曜である五日。日降容を新 日曜學校再開

六日糖総行で来載したが十六日か」る現地戦闘性施装加のなめである際指出大家是以下特校十五名は十一ら四日間線、際、四各地に行はれ

渣

營口軍優勝 遼陽以南各地方事務所の

對抗卓球大會盛況 時婦人のため

つて生徒か豪集してゐる

東本願寺改築

學友の追悼會

第1日割の無く際能する 一時より職堂に然て各単年見重の 一時より職堂に然て各単年見重の 一時より職堂に然て各単年見重の 一時より職堂に然て各単年見重の 位に十八日連夜から廿四日建夜迄 毎日午後一時さ七時の二回に春季 昨

められる人は左の二人である 本六月二十七日死亡の豪富三年生 本九月二十七日死亡の豪富三年生 の江口三惠さん 艦隊の見學團

て従業はの見学感を組織するべるなののでは四月上旬入後する整線部銀塊では四月上旬入後する

一路御平安を所る、製刷所の件 ・ 関側平安を所る、製刷所の件 野犬の驅除 | 上京した他石總裁に左記の

行験を得ふさ

一大会議の大学報告に表って野犬の大学報告に表って野犬の大学報告に表って野犬の大学報告に表に表する。

「世際男朋店を手始めに市内十二 法職者に関うて野犬の大学報告に対しては四月十五日言議となる人間が、大連地方法院に於て人達 は結審の上三月二十三日言議と に続きする者に民称を育らたち返去と丁華徳 に接着を伝表して将田地方が設定したいますの男女兄童が百餘名大きな目 海長地にあり の判決を貸したお返去と丁華徳 に接着を伝表して将田地方が設定したの判決を貸したお返去と丁華徳 に接着を伝表して将田地方が設定した。 第一年後五年の男女兄童が百餘名大きな目 海長を接げるかり気に入るや紅龍連のの地では四月十五日言議となる人間は といっの男女兄童が百餘名大きな目 海長を接げるかり気に入るや紅龍連の中 はる他別の執行三ケ年執行教諭を に接着を伝表して将田地方が設置した。 「大きな明明なるる人は日第一小學校の第五 総は観点組合は一十八日 を見張って繋むに接続してなた。 「大きな明明なるる人は日本人とは一次の第五 総は観点組合は一十五名に上述の男女兄童が百餘名大きな目 一本の男女兄童が百餘名大きな目 一本の男女兄童が百餘名大きな目 一本の男は自然の様に接近 十五名に上述の日本の日本の大学報画は、大学の時より完全の代表に表では、大学の時より完全の代表に表では、大学の時より完全の代表に表では、大学の時より完全の代表に表では、大学の時より完全の代表に表では、大学の時より完全の代表に表では、大学の時は、大学の時は、大学の時は、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の時に表では、大学の表に表では、大学の表に表では、大学の表に表では、大学の大学の表に表では、大学の表に表では、大学の表に表では、大学の表に表で表に表します。 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表している。 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表している。」 「大学の表に表している」とは、「大学の表に表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、「大学の表に表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、大学の表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表に表している。 「大学の表に表に表に表している。」 「大学の表に表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、「大学の表に表している」とは、「大学の表に表している。」 「大学の表に表している」といる。 「本学の表に表に表している」」 「大学の表に表している」 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表に表している。 「大学の表に表している。」 「大学の表に表している。 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表している。 「大学の表している」 「大学の表しいる」 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表している」 「大学の表しいる」 「大学の表している」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しいる」 「大学の表しなっている。 「大学の表しいる」 「大学の表しなっている」 「大

五 松山響乗組合は組合成二十五名に主義に悪子を開催し続がたので十八日本を理解した場合したので十八日本を理解した場合したので十八日本の理解、行ふさ

十時本年度の保育終で式か事行す 1 別職合會執事は多級なもつて館木七別職合會執事は多級なもつて館木七の版本とので館木七の版本を表示している。

龍河の改修

順西港に注ぐものであるが底地ともいふべき日本橋下

数し、延長約二里、紫照新書

旅順民政署長

旅

順

の激繁は質に近の観浄の転修さ植。ふ。 は前に述べた準であるから、西徳 他は工場地區とするのがないと思述の砂芯増高は特に得だらいこと 用地として振順整撮影に便し其のの激繁は質に近の神に横直 かっぱい かて埋立地は浄口東方一様は鏡道

が、 西港に流入する土砂の防止上吹き と来る識である。要するに龍河は が出来る識である。要するに龍河は

コドモが質問を要するのは、も

れつける。数の腕いて励るさきにれつける。数の腕いて励るさきに

母は悩しいと書って一覧の下には

をくに本づく場合が多い。なアに を発展が建り、さうく、可愛い 学教服成が建り、さうく、可愛い 方の生命まで機能にしなければな なってはなる。水事を眠みの人

に拾らを引って無にせの母がある

明年が続いて言っても、 時歌をし

コドモの故障を

気にかけぬ母

邪魔扱にする母

コドモの質問を

又母さしてこれほごの不名をはないのである。

は母さしての深事者であると時はなければならの。そしてである。左に成す電解である。故に記したのは親がとしたことは、日さして我であるのに却である。故に記したのは親が長い題のの事で子供心職(することはまことに説かはしきことである。左に成す電解がももかはまことに説かはしきことである。左に成す電解がももかはまことに説かはしきことであるのは知らればならればならればない。自分が生人だ子を善齢が強い母の中にも敗によい母は少い。自分が生人だ子を善齢が強い母の中にも敗によい母は少い。自分が生人だ子を善齢が強い母の中にも敗によい母は少い。

コドモの惡行を 増長させる母

日

満洲の

天地に活躍しや

カナガシラなごと形然こされる。 はやはり雌と繋び、 微極高の多いのはやはり雌と繋び、 微極高の多いの

も四月の牛切から五月にかけてもばかり間があります。がこれ

せう、網も流動までにはまだ少

此の頃は

鞍

かりでなく、新鮮な空気を呼吸に紫外線を受け得るといふこと

原に及ぼす効果は強底人工太陽。

ぬっものでありまとて、心を智

ますから身體の弱い人々は

が供給されるの

アシオト

100

日

丸

號

ユ

2

(十三)

次

期

現代人の恐威病

国(照益血)

に頼らればならない 満洲に住む資格が 我等の健康法は常に積極的でありたい 人々は

な

率天醫大學長 稻

らの効果のあることはなか我々の健康を増進する

する強敵な身機が築き上げること

年間の健康保持には 役に立ちま 夏季のな水浴には其の

春の味覺に

以外にも観響事態既書等が勢い端 になると八百目から一貫目に及ぶ

から、原に掛ける から、原に掛ける カバンが配合くないと共

待遠しい海の珍味

蝦や鯛はまだ少し早い

花の吹く窓が出盛り脚さなりまたの吹く窓が出盛り脚さなりま のかこの頃ではさつばりされなのですが、獲り返してしまつた されがはボ 目がさへ戦くなければ、ランドをことになります、しかし、これは にランドセルもまた決して安心し

福き歩つた彩の味覧へ待たれるの は 郷の 幸はまこさに 賞様である、 だが和やかな である、 だが和やかな である、 ここに 賞様である、 こ

くなってしまいまし

知値は 大小や質によって棚 連がありますが先づ鰈が百分一 う、此の頃の魚の ないでせうか(高山真砂子女子県) 校の数室に大々参考書を野富し へるなり参考者なもつさハンデ ないわけです、しかし、参考書が 者書を減らすこさより外に方法が 日が、目がを減らすされれて参

十錢、口細鰈が二錢から五錢位

魚の値段も日に日に安くなりこれからは盛瀬期になりますか

※ 相 ◇用紙ハガキ ◇相談保宛

重過ぎる

小學生の 2

南鎌の 幾學資金 なは昨年中等學校に入學して兄 なは昨年中等學校に入學して兄

近年の

小墨生には戦科書

を関んでゐたのださうである(爲眞は三好文江さん)がみ、さうさう太楽機影所長にお百度を購入だ罪有の

1

お母さん

らやかましく言つても、中々頭に

悪いお母さん

私の見たお母さんのいろく

書を探って職べて見て、答へてや も母にその解答が出来なければ静 し母にその解答が出来なければ静

質単博士 三田谷啓(者)

日活がつい無電機能所長にお百度を踏んだ動切やつさ入社が吐つて其の後血のにどむやうな標古がみ、さうさう太秦機能所長にお百度を踏んだ動切やつさ入社が吐ったが、潜脈が悪検の三年生になった昨年の一般電機能を終へた管理圏家五郎腕候、三枝監督の映鑑「欄の木」に今年十一の三統変迎さり、一般でよりに対して、神経が悪検の三年生になった昨年の一般でよりに対して、神経があり、一般ではないというとなった。

これる母は、コドモの裏付た事と させる状助者に外ならか。すべて もせる状助者に外ならか。すべて もせる状助者に外ならか。これが意 の 職力館の意志を到さに費撃てれば あである。もしこの機械と情報の のもさなたどすさ、たつたマッチのもさなたどすさ、たっちの山火事に随い分大きい現象である。しかるにそ 一本のあさ始末の駆かつたのによ 命か下した以上は實行させれ コドモに命令を 徹底させぬ母 の教育法を非総しコドモの前で 必要さする。 父の教

づ 育を

す

毋

ばなられ、食行の出來ない命令な がよい。コドモを行司にする。 さと、抗腫を申込みまずからコド わやうになる。既ては父がいくら そは威戦を傷つけ、父を父さ思は つて居ます。矢張リコドモの教育 かまわず「あなたのお考へは間違 ニ カクレタ、 ニ カクレタ、 ミチハ、カヘツテ イツタ、レタラシイ、四人ハ モト ノングラレタ人ハ 中二 ノコサデテ キタ ノハ 四人ダケデ メラシイ、四人ハ

等年十月に募集し 「決定いたします、歌楽定終げ在 「新年十月に募集して二月」 を はなくなったのです。 不変金は如何なる手續きで何課 を変金は如何なる手續きで何課 ではないないですか、大

妊娠と出旦

利振りは在漏人の地とく歌らである▲海難融の理べ歌 十年以上し載けられてゐる▲而 七年以上し載けられてゐる▲而 もその要求が未だに管理しない のは職質者の結束が足りないか のは職質者の結束が足りないか 徹底的に並の膨胀が迫る必要がころ▲かゝる窓替債に對しては が新たに出現した名岡手の明

満人及在浦人の子前の中の食物で 勝力の優れた者、そこて中等県校 で、事務は浦銀の県教に在原中の著 ンセイショ

候ではないでせらか(沙河口一般ではないでせらか、流産の歓組を立た、流産の歓組を立た、流産の歓組を

して居れば其ま、微笑がなくなつ でその出順は治癒の微笑であるか 照城三四ヶ月は最も流騰し易い時 しまふ場合もあります 商田校長の勇退が

る▲生郷を失った教育官に一着 の命職を興へるには密然大手術 が必要になるのであるが▲底の が必要になるのであるが▲底の ない試験者にかりで観光の患者

龜甲 萬醬油 九升詰

景品 一樽年に味の素十五グラム一樽代金 四圓四十五銭

| 大の一の一番

全く驚きましたよ

のききめには、

頭痛

はテキ

ですな

(野福の党明書識呈す) (野福の党明書識呈す)

長田 武 會株式株式 西 小 社式 菜 製 五 大

商衛兵新

店

上町堰匯川龙東市阪大

元

店理代東關

元 造 製

*

の「中島」の ョンを起したるは釈知なるが同様士の治院が死に成功し臨床を要求に一大セジ代人の恐怖なる「動態を発化し大セジ代人の恐怖なる「動態を発化し大セジ代人の恐怖なる。 に敗而せる治療者「風生命」を申込者に無難用子就常においては同様士の論文を カラ ツイテ イツタ。カラ ツイテ イツタ。 ツイティ



小久保老博士の研究成る

創製藥は福田氏より頒藥

家職出意館氏の質問より経験する事となり、顧問家教験「イーズ(EASE)は博士の観友たる實験

防主義のものであつたがが久保博士の「イー派の一般等品は動脈の優化を除くてら桔良健かが削騰に耐えかれて破綻を生じり後にとなるが削騰に耐えかれて破綻を生じりない。 入ると脳関脈に使く微細な動脈瘤が硬生 治験せしむるものであるから

解除師を辨止する」と医に東京市漫草原郷吉町一卒中患者(甲身不陳)の治療のみならず経験的に

を を 覺 折 る を 手 盛 2 T 应而下数数

完全 せ 職製剤なるが故に

を強壯にし、迅速に―顯 原名に 受けずして直ちに 食慾をすゝめます

價値に徴しても無上無二の滋養劑です。タミンは學理から觀でも臨床上の實際虚弱の人、腺病質の人に對して、ポリ虚弱の人、胃腸が惡い人、衰弱の激しいない人、胃腸が惡い人、衰弱の激しい肉や卵を食べても榮養のはかべしらく

臓病者の

醫學博士御推獎 三百九十餘名の





31-201(O)

優雅な句ひで 附きで

すべてに一等の

ウテナル自粉 ウテナ水自粉 中テナ 粉 白 粉各色 五十錢 健康色 …………五十錢 は 一 一 一 五十錢

1 の肌色 ・ されは美しい人の ・ たれは美しい人の ・ まを誇る ・ 青春を誇る ・ 青春を誇る

ウテナの肌色です。

心から 愛しませう

養ひませう

春は地肌が日に

一育ちます

お肌の美しい条養ウテナ花印(油性)コールドが……一覧のは、キメを細かにするウテナ月印(中性)が……一覧のく、キメを細かにするウテナ雪印(乾性)が……一覧のは、お肌を愛し、お肌を養はねばなりません。 き肌に

日丁二郡本京東 館本ナテウ 店 商 吉 政 保 久



まり取されてある、神微金世野の決定を必要とする を動きれてある、神微金世野の決定を必要とする はいまする誤解患脈だされる。 を動きれてある、神微金はが能 が変える。 を対している。 をがしる。 をが

理事者裏面運動

その成行き注目さる

卸賣市場問題で

鮮銭が

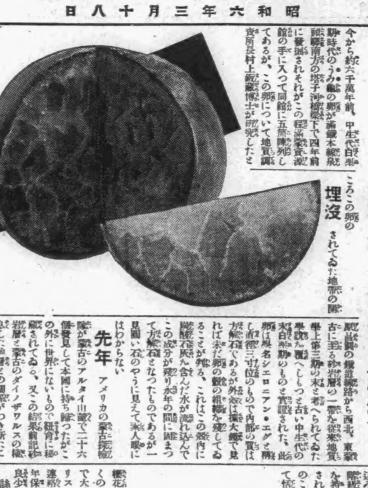
家賃が高過る

官舍の自給自足策

中生代末白堊期のものご實證

發見

贈り村上博士の研究



以少年の動成は二三年前さは全く ・ 大楽響少年観察係ではアラック ・ 大楽響が年観察、際近、一 を ・ かない。 ・ かない。 ・ ないでは、 ・ ない そのもこと一、二ヶ月さなつたの様花の下に不良少年の黒い影が動

し、中華学生の不良 動 かりの突睫ださ強要して去らず 歌められる、今一つは懸述水単生 空 がそれへ離落する危険性が十分 を要することになってあることは野へない これ等子供の全部が不良水年、 要 実でもないで、 しかしことにその 連載では近く各水単校に難し法念 が 変でもないではないが、 しかしことにその 連載では近く各水単校に難し法念 を がそれへ離落する危険性が十分 か 要することになってある

副議長を繞つ

組織の農産については

ひと波瀾か

辭任勸告陣營擴大

金组

銀の使

ひ

5

つれかに統

近年珍しい傾向で、常局でも原因。 いっというというでは、 からした少年で乗の増加は もる、いっとた少年で乗の増加は といっというというという。 黄見の都度 のであるが、発ご毎日これ等小型 のであるが、発ご毎日これ等小型 の機能に努めてあるか、その一、

金銀使い分けの感

參考人取調

り引鞭き取割を受けてゐるが

ため昨今の如き

取引の上に非常の時に能っ

の頭痛じ

一高いさ前はれる滿洲の家庭を一百三十萬圓に難んさする野祭協會 築したのが大小販交ぜて級二百軒 るが抵か執り始めた、昨年中に建 ・成堂上流用して、節舎を建設す」は先ろ熊暦の憩さして並過きを要 を便宜上流用して、節舎を建設す」は先ろ熊暦の憩さして並過きを要 まるさあつて、観察協會の観弦金 うさいふのだから識はない、今年 豕主牽制は警察から

たえる関東殿のお役人爆炸

日支周遊客の 便利を圖る

和策ちやア

日支聯絡會議に提案

から従来の六徳路に をあって消機から軽天、流沙、無 無販がオミットされるのけ遭燃だ を変われる。又満洲の名所れる ることが出来る、文彫楽館の内にを辞出する第二、一座は、下間、駅館を終める第三、四座路のものはを辞しても

ある、又刺引教は一鬼話。 カラ、ス刺引教は一鬼話。 なかつた旅脈安東でも野り出すことないった旅脈安東でも野り出すこと 御文は融談して文元の地覧に解る さ、なり在満人には至って便和で さ、なり在満人には至って便和で なかつた腹順安東でも野り出すこ

電に最初の概井野師、四へて歌歌した、大連歌から離本歌部神が出 かに原因は何?シズさんは生れた。 ないた原因は何?シズさんは生れた。 ないた原因は何?シズさんは生れた。

玉城と共謀して 種々の不正行為

組合に格る不正事代し、「民歌師を終て、『京宗書な智能研究日を影動した側京殿職財」物表の火壁を切り減じて小木、

兩親を失つた十六娘 丸斯管を引込んで紹命 しさから自殺 哀切な字句を遺書に綴つて

院外称前四番師は十六日夜左の短ケフ氏の密修に動き振露の康熙病一ケフ氏の密修に動き振露の康熙病一

に攻容する事に豫定を襲夷しに攻容する事に豫定と十八日市ケ谷利・明朝記し十八日市ケ谷利・

では十八日、

及修理、洗はりは

アニケ 經過良

フ氏の

院外科的工學師は

客を吸収を見が

温泉を經営する

真地調査中ださいふ便り。 フ人技師なつれて関地に飛 フ人技師なつれて関地に飛

ウツハ

トサニ、

トラーセント

最初の試み 制ラグビー戦 一十九日大連運動場で

松砂の飲みな 満洲ラグビー協會が撃行 ら対意の目を以て迎へられてゐる。常極師一大脈極さして、一般か

値開きは 随分大きい 土屋屬の談

有につき水上、大連麻器の宿舎新 原東臓器秘縁野秘郷城野土治療は (語る は周知の事實で、常はで名の 正は周知の事實で、常はで名の 正は周知の事質で、常はできの不 とな民家の借り上げによって種 とな民家の借り上げによって種

R 〇一號慘事の原因 查問委員會より發表 なかつたと認められる

原因

不良少年の新動向

春を迎へて警察の苦心

三年前とは一變した

時より地域ビル四階推動局影地室。 沙河丸の審判

人道皷

0

大浪

曲

突如再生せる若き日の京山小圓

京山山園

當局で調査に着手

皆〇九〇三話電 町馬伯

かっ

不思議の

設備も

品料理

章住職大僧正本多日生師は胃潰

さいますのを御待ち申して居ますサービスと共に、皆様の御出下一静かに落ついた設備は溢れる情味の

本多日生師遷下

況有難く御禮申上ます 依り毎日滿員の盛

888

800

常船

洋食部の進出

へ何·李鵬係無之候條此段 嚴告 一條,解傭致候二付令後弊工 解次即儀(青柳著一郎事)今般

海う

日本各地名 るめ丸 産 人丁 却 曾 味納な 6 料品

吳服一織元世此安值 洋服、オーバ及クリー 群馬縣伊勢崎町横元代表群門本品が前記調言に違いたる場合は即時返金す ガワ + 富二十日初日 ニング 洗布所へ 本四国土銭 馬幾料無料 元 紀断念與行 語せかいせ番 うなぎ料理 **水原小兒科醫院** 南京虫根絕最新制 **獎魯元。日本壽藥会社** 七 一 個二十 錢 電ファーフニー四五番 劇

澤山入れても少なく入れても伸縮が自由ですから貧った烈がトラ 進級及入學の御紀に好適品

共通券各種

▼低温く赤味時の方に 歌鳴色

になるのも尤ね!

高尚なの、人気の中心

を見直す程化粧上りが

て其上、自分ながら鏡 第一化粧が簡單にでき 「で、手前見つからなかつたのか 中電車で一緒になって、あさつけ へ 電車で一緒になって、あさつけ へ

粉白粉の新肌色を頂い

~素敵ね!

用なさる!今評判の

マスター

水白粉と

先生方も美容術後に専

ン美容院新見先生から

取引きに來てアがったのさ。

なか引張り込んで、多胡の女郎屋

性いくらその財布へ選入つてたんい、縁なこさ言つてアがるな。一

ものにでもなったら

(A)

3-M

蒸氣風呂なんぞへ手前這入った いさ、かあッけにさられて、鬼になっなっている。……廿九日ぢや海まれる。です。 てその心配は絶野れえつて言って

▲ 南東京市舞町區內幸町產業組合時東京市舞町區內幸町產業組合時報社 東京市舞町區內幸町產業組合時報社 東京市舞町區內幸町産業組合時 報社 「東京市舞町區內幸町産業組合時 報社

東京神田區一ツ橋消帝國文化協 東京市京城區京城三株式會東京市京城區京城三株式會

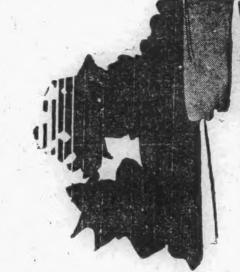
競博文館發行價四十錢業川界〇三月號)農業、清稅

放送り 大連 」 『全人

入江たか子談

二月に東京のバリデヤ

評判なのも



を擧げ

新利紹介

此の外禮讚の辭歡呼の聲嵐の如く机上日々山を成す

舉つて御推奨 外醫界の權威

博士の大發明!胃袋いらずの高速度滋養料

・「どりこの」は正に救ひの神です

といふ名職が『にがくない良歌』といふ歌語としてになる賦で『どりこの』は恐らく空戦のものであらう ない良薬 環高田費・郎先生民

こ一杯がむと戦気順に快後するの野戦物に難して耐しると一切利用出来ない起には戦に顕然であるの世報に撃 西條晴子夫人民

対果の現はれが工一分……佐々木味津三先生ほしかり、大いのである。飲んでから郷里の現はれる造納五分、郷が経像にはもつてこいだ。かり、大いのでは、「変の野殿は起つきだが『どりこの』を製用しましたが、「変の野殿は起つきだが『どりこの』を製用しましたが、「なり」の。 、大量よろこんでいたといてなります。子供など皆に見えていので滋養料には始終紙を使つてなりますが『どりこの』

今スグ ▲熱性諸病の爲衰弱甚だしい方▲食べ過ぎ、宿醉などの場合に、▲関陽病の方 ▲産前産後に ▲病後の衰弱恢復に▲駅病質、發育不良兄◆語核症の方 ▲雀神を後に ▲病後の衰弱恢復に▲駅病質、發育不良兄◆感情の方 ▲神經衰弱の方 ▲食慾不進の方 ▲母乳少き小兒

健康者は愈く健康に、病者は回春を速逝す!。眞に効力絕大!男子も婦人も、老人も子供もかゝさずにお用ひあれ、 瓶病氣知ら

氣分爽快 活力横溢

一杯=身心の疲労を気後し、明日の活動の激素となる の一杯は、忽ち元氣を増し頭腦を明晰にします受験準備や事務繁忙、その他特根を使ふ方 は、忽ち全身に精力漲り活動力を盛んにします運動競技や労働、其他的體を使み方の一杯



てトテモ上品な香氣あり

、胃の消化作用を促進してよく食物の免養價を増大させます。はそのま、吸收され直ちに滋養となり精力となります。アミノ酸精ーアミノ酸ー外數種の貴重劑 糖果糖は市價十円に相當す

葡萄糖 と果糖は飲めば

◆お好みにより五僧が平七僧のが光 は滞でうすめてお上り下さい。分 は滞でうすめてお上り下さい。分 をりこのミルク令をりこのアイス でで、オートミルに今お茶、物味の がで、するとりこのカクテル

一脚一圓二十錢一樣人對 。全國有名藥店食料品店にあり

** 大日本雄辯會講談社代理部